

# 石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第8回)

平成29年度の試行運用に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会(第8回)」を開催しました。検討会では参加機関によるワークショップを実施し、平成28年度の試行を踏まえた調整・検討、役割分担の再確認を行いました。

- 開催日時 平成29年7月20日(木) 14:00 ~ 17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター(滝川市)
- 参加機関 滝川市等36機関

## 開会の様子

検討会には、各関係機関の防災担当者に加えて、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約80名が参加しました。滝川市の中島総務部長より開会の挨拶があり、検討会がスタートしました。



開会の挨拶  
滝川市 中島総務部長

## 参加機関によるワークショップ

はじめに、松尾座長より7月の九州北部豪雨の状況についての話を交えた挨拶があり、タイムラインの試行・改良を繰り返すことの重要性について説明がありました。

続いて、札幌開発建設部の平垣河川管理課長より「石狩川滝川地区水害タイムラインのこれまでの取り組みと概要」についての説明があり、引き続き、札幌管区気象台の佐々木水害対策気象官より「表面雨量指数の活用による大雨警報(浸水害)の改善と危険度分布の提供」、「精緻化した流域雨量指数の活用による洪水警報の改善と危険度分布の提供」について説明がありました。

次に、ワークショップの進め方について説明があり、参加機関の役割に基づき「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸・防災基盤対策」の



ワークショップの様子

5つのグループに分かれて、グループワークを行いました。

各グループでは、平成29年度の試行運用に向けて、平成28年度の試行を踏まえた各自の役割の確認と修正を行いました。

また、タイムラインの行動項目についての疑問点・不明点・課題点の抽出を併せて行いました。

最後に、それらの解決の方向性について、松尾座長より板書による説明・助言があり、ワークショップを締めくくりました。



松尾座長による説明

## 今年度のタイムライン試行について

今年度のタイムライン試行方法について、滝川市の湯浅防災危機対策室長から説明がありました。

続いて、幸町第4区地区防災会の東藤会長より、防災会独自に作成したタイムラインの紹介がありました。

最後に、札幌管区気象台の細見業務課長より閉会の挨拶があり、閉会となりました。



今年度の試行について  
滝川市  
湯浅防災危機対策室長



防災会タイムラインについて  
幸町第4区地区防災会  
東藤会長



閉会の挨拶  
札幌管区気象台  
細見業務課長